学校法人若竹学園千里幼稚園

令和５年度事業報告書

１．法人の概要

① 法人名　　学校法人若竹学園
② 理事長　　小路靖士
③ 住　所　　吹田市津雲台４丁目６番１号
④ 設　立　　昭和 39 年
⑤ 代表者　　理事長　小路靖士
⑥ 設置する学校　千里幼稚園（昭和 39 年 9 月 30 日設置認可　昭和 40 年開園）
　　園長　小路靖士
⑦ 役員等の状況
　　理　事　　定員７名　実員７名
　　監　事　　定員２名　実員２名
　　評議員　　定員 15 名　実員 15 名

２．事業報告

① 事業の概要

新型コロナウィルスの感染拡大が収まりつつあるが、手洗い、消毒の徹底を継続し、園児に対してもその必要性を理解させ、安全安心に配慮しつつウィズコロナに合わせた教育・保育の正常化を進めた。
また昨年送迎バスに保育園児が取り残され死亡するという痛ましい事件が起きた。このような事故を防ぐために、補助金を活用して送迎バスに安全防止装置取り付けるとともに送迎チェック、確認の徹底を職員に周知し安全管理を徹底させた。安全管理に関しては、火災、地震、洪水、不審者対応などの避難訓練を定期的に実施したが、個別の訓練計画はあるものの、総合的なマニュアルの整備には至っていない。
千里幼稚園はじょうぶな心を育てる根っ子の教育を重視している。躾、日本文化への理解を深めるための様々な行事の実施と特にお正月、ひな祭り、こどもの日、七夕など季節に係る行事についてはその意義や歴史の説明を行っている。教職員の熱心で親切な対応など評価されている点をさらに伸ばし、幼児教育の中心的存在として地域から信頼される園づくりを進めたが、少子化の影響で園児減少を食い止めることが出来なかった。ただ未就園児保育を充実させることにより、期中での満３歳児が確保で

きたことで、大幅な園児減少に至らなかったので今後も子育て支援の充実を図ることで園児減を食い止めたい。

保護者及び地域の理解を深めるため、ブログ等を通じて園の日常を配信していく予定であったが、職員減少により殆ど手つかずであったことは残念である。令和 4 年度に実施した年 3 回の給食試食会が大変好評であったので本年度も継続して実施した。子育て支援については園庭解放を行うとともに、保護者同士の交流事業としてコーラスを実施し、保護者から賛同をいただいている。今後も継続する予定である。

教育の質の向上には教職員の充実とレベルアップが不可欠である。令和 5 年度末に職員 4 名が退職、育児休業 1 名となったが、2 年続けて十分な職員確保が出来なかった。職員の負担が増え、当初予定していた研修参加も出来ない状況である。今後もあらゆる機会を捉えて採用活動を積極的に行いたい。

事務面では昨年導入した ICT システムの本格運用を行った。ICT システムの導入により預り保育の管理、保護者との連絡はある程度効率化が進んでいるが、プリント類の Web 化までは進んでいないので、今後も検討を進めたい。施設設備面では駐車場整備工事を実施した。従来、職員や業者の車の出し入れにリスクが伴う恐れがあったので、整備を行うことでそのリスクが解消された。また雨の日に園庭が使えない場合の遊具としてエアーランドを購入した。職員の付き添いが必要ではあるが子供たちが遊びと運動を兼ねて大喜びで利用している。また園舎裏側の造作について消防署から改善を求められていたので、改修の検討を行った。令和 6 年度夏休み中に改修工事を実施する予定である。今後も施設設備の整備充実、老朽化した設備の改修等を検討し、実施できるものから実施していきたい。なおリスク管理の面では火災及び地震保険の見直しを行い保険金の引上げを実施した。

② 職員の状況

園　長	１名
教　員	１６名
職　員	４名
非常勤職員	３名
計	２４名

③ 園児数の状況

５歳児	８０名	３クラス
４歳児	６５名	２クラス
３歳児	１０９名	５クラス（満３歳児含む）

計２５４名（令和６年１月１日現在）

④ 実施した行事等

〇式典　　（入園式　始業式　修了式　卒園式）
〇季節の行事　（節分　ひな祭り　子どもの日　プラネタリウム　七夕
　　ハロウィン　餅つき　クリスマス　凧揚げ大会）
〇遠足　　（親子遠足　芋掘り　みかん狩り　お別れ遠足）
〇三大行事　　（運動会　生活発表会　造形展）
〇避難訓練
〇保育参観

千里幼稚園の伝統を活かしつつ、園児、保護者の目線で運営を行っている。